

きたかみ未来創造会議

創造NEWS 2014 第4号

2014.9.17
第4回会議
指標の重みづけ
と基本施策の
重点化の巻

平成26年度第4回目のきたかみ未来創造会議が9月17日に市民交流プラザにて行われました。

<当日の流れ>

はじめに、市政策企画課より開会の挨拶がありました。その後、グループ別にワークショップを行いました。

I. ワークショップ

①グループ別ワークショップ

各施策にある指標のうち、評価を行うために最も適した指標を選択し、水色のペンで丸を囲みました。

選択するのが難しい場合、その理由や思いをオレンジの付箋に記入し貼りました。

②全体共有ワークショップ

ひとり18枚のシールを受け取り、全ての分野の施策を見て、これからの北上のために必要な施策だと思ふものにシールを貼っていきました。

③グループ別ワークショップ

全体ワークショップでのシールの結果とこれまでの議論の内容を含めて、特に重点化すべき施策を分野の中で2~5つ選択しました。

さらにその中から最重点化施策も選択しました。

II. 発表

最後は全員で、各グループで選択した重点化施策の内容の発表を聞き、成果を共有しました。

おわりに、市政策企画課より、会議出席のお礼の挨拶があり、第4回未来創造会議の締めくくりとなりました。

皆さま、今回も活発な議論をしていただき、ありがとうございました。4回に渡る検討を経て、各グループが評価指標と重点化施策の選択を終えることができました。

大変おつかれさまでした！

<次回の会議について>

2月4日(水) 18:30~20:50

会場：市民交流プラザ

次回からはいよいよ後期計画の見直しの検討に入ります。多くの方の参加をお待ちしております！

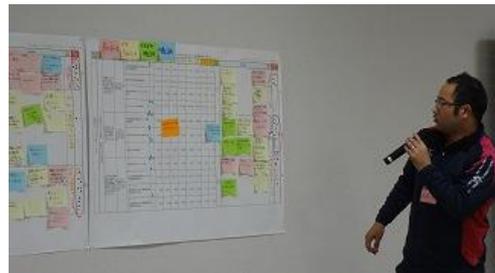
<懇親会のお知らせ>

10月15日(水) 18:30から
「きたかみ川」にて懇親会を行います。
こちらぜひ、ご参加ください。

※申し込み・詳細は別紙資料をご覧ください



発表の様子
保健福祉



教育文化



産業雇用



生活環境



基盤整備



推進体制

<皆さんのふりかえりシート>

- 今日は、様々な分野からの目線、考えがより刺激され、グループの意見、議論が身の濃いものとなって良かった。
- さまざまな意見がある中で、最優先を決めるのは難しい。
- 今日もあっという間の2時間半でした。
- 重要な指標とは？・選択するに難しかった。・全体ワーク、もう少し時間があればよいと思う。
- お疲れ様です。今日もありがとうございました。シールが足りませんでした。時間が足りませんでした。頑張って意見を出したのに「全てが使われるわけではない」とか頑張って発表する人に「時間もないので」とか失礼すぎます。せっかく参加したのに。残念です。
- 持ち時間に比べて、求められている内容が多すぎ。もう少し「丁寧」にしたいもの。この調子では、後半の「計画づくり」も部長会議を通るものにはなりにくいのでは。では、どうするか。他分野について余り介入できなかった。この評価会議も外部評価に当てると良い。
- 熱い議論となりました。楽しかったです。
- 一労働者、一個人として、納得できた。システム、制度といったものを運用するのは“人”なので、その“人”の暮らしに係る点を重点課題とできたことが嬉しい。
- 10/15の交流会には是非市長と副市長の参加を希望します。
- 皆さん想いを言葉にできていてよかった。・反面、深めるといふ段階までいききれなかった。・もう1回、あったらよかったかもしれない。・サポーターのフォローで検討の方向性がぶれなかったと思う。
- 最後のあいさつが冗長だった。
- 交流会欠席で申し訳ありません。4回でるときりが良かったです。
- コンパクトシティを重要項目としましたが、何を指標とするか、どういうコンパクトシティを目指すかはとても難しい問題であると思いました。
- 問題点が浮かび上がって来たと思います。テーマがはっきりしつつある。(コンパクトシティの実現について等)(あじさい型)但し、財政の効率化の問題もある。
- 最も重要な基盤はと話し合い、コミュニティシティの「あじさい都市」について考えることができた。
- 基盤チームは、色々、重要な事項が多く、まだまだ話し合いが必要である。
- 市議会議員さんに、会議の様子を見ていただけると良いですね。どの様に議論が行われているかを感じて頂けると資料を見る目が変わると思います。
- 時間内にまとめるのが厳しかった。発表も2分程で厳しかったがいい勉強になった。